



「自分自身とともに - べてるの家の対話実践の歩みから -」

講師: 浦河べてるの家 理事長 向谷地 生良氏
ソーシャルワーカー(当事者スタッフ) 伊藤 知之氏



向谷地 生良(むかいやち いくよし)氏
のプロフィール
1978年、北海道浦河町の病院に精神科専属のソーシャルワーカーとして赴任。1984年、地域活動拠点「浦河べてるの家」を設立。2001年当事者が自らの経験、出来事を研究・考察する「当事者研究」を提唱。2003年より北海道医療大学で教鞭、2021年名誉教授。

令和5年5月22日(月) 14時～16時(受付13:45～)

会場: 原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」

集会室 (福島県南相馬市原町区小川町322-1)

いままで、会社で、家庭で、教育の場で失敗に失敗を重ねて、病気になるまで自分を追いつめた経験をした人たちが、あらためて「商売」に挑戦する。いわば鉛の船を海に浮かべるに等しいプロジェクトが過疎の町の片隅で始まった。

日本の精神医療のパイオニアと称される「べてるの家」。その取組は、今後の精神障がい者の真のノーマライゼーションの方向性を指すものと言われています。

「べてるの家」における普段の取組やその実情、取組の意図や経験してきた多くの失敗について学ぶことで、ノーマライゼーションを改めて考える機会となりますので、ぜひ、ご参加ください。

【主催】一般社団法人 福島県精神保健福祉協会相双支部

【共催】福島県相双保健福祉事務所

申込方法

下記のアドレスの申込みフォームからお申し込みください。
右のQRコードからもお申し込みいただけます。

<https://www.task-asp.net/cu/eg/lar070009.task?app=202300179>

申込締切
5/17(水)

